

5/14 (月) **きれいな花でお出迎え**

長峰公園で、矢板花の会の皆さんによる奉仕活動が行われました。この日は、早朝から15人の会員が集まり、公園入口や園内通路脇の花壇に、矢板高校生が育てた約1,000本のサルビアやマリーゴールドなどの花を植えました。公園入口には、市章をかたどった花壇がお目見えし、市制施行60周年に花を添えました。

会長の新野さんは「公園に来る方を、いっぱいの花でお出迎えしたいとの思いで活動している。色とりどりの花をみんなに楽しんでもらえたら」と話してくれました。



5/20 (日) **防災意識を高めよう**

片岡四区行政区で避難訓練が行われ、総勢約250人が訓練に参加しました。これは、出水期を前に大規模な土砂災害の発生を想定し、地域住民のほか警察署・消防署・消防団・県トラック協会矢板地区協議会が連携して実践的な訓練を行い、災害に対する避難・支援体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的として行われたものです。

高橋区長からは「課題を見つけるため、日頃の訓練から支援の必要な方にも参加してもらい、有事の際、スムーズな避難ができるよう対策をしていきたい」と話がありました。



5/21 (月) **おいしいお米になあ〜れ**

矢板高校東側にある田んぼで、西小学校の児童と矢板高校の生徒が合同で田植えを行いました。例年西小の5年生と行っていましたが、今年度末に西小が閉校することから、今年は児童24人が参加しました。農業経営科の皆さんが児童の間に入り、苗の植え方や田んぼでの歩き方などを教えていました。

西小4年の和田陽花美さんは「初めての田植えだったけど、高校生のお兄さん・お姉さんが優しく教えてくれたので楽しかった」と感想を話してくれました。



◀指導にあたった高校生は「子どもたちとのふれあいが楽しかった。食べ物を自分の手で育てる大切な体験になってくれたらうれしい」と話してくれました。

5/26 (土) **八方ヶ原ツツジ満開**

5月下旬から6月上旬にかけて八方ヶ原のツツジが満開となりました。今年のツツジは、例年より1週間ほど早く見頃を迎え、20日(日)・26日(土)、6月3日(日)には、矢板駅・城の湯温泉センターから山の駅たかはら間で「ツツジ送迎バス」が運行されました。市内外から訪れた方たちは、散策や写真撮影をして楽しむ様子が見られました。

東京から訪れた親子は「天気も良く、子どもと楽しく散策することができた」と話してくれました。



5/26 (土) **史跡を守り、引き継ぐ**

川崎城跡公園で、川崎城跡公園再生市民会議の皆さんによる公園の整備が行われました。この会は、郷土史研究者やボランティアの方たちで構成され、年3回の公園整備のほか、夏の風物詩「光と音のあんどんまつり」を主催するなど、史跡を子孫に受け継ぐための活動を10年以上にわたり続けています。

今回参加した24人の方たちから「市制60周年の節目の年。普段から多くの方に足を運んでもらい、この場所ですべての歴史を感じてほしい」との話がありました。



6/2 (土) **安沢の歴史にふれる**

安沢地区の文化財を巡る「歩き・み・ふれる歴史の道」が開催され、市内外から23人の方が参加しました。市文化財愛護協会の方の解説を聞きながら、湯泉神社や谷中の大ケヤキ、中坪のヒイラギなどの文化財を巡り、史跡の歴史的背景や安沢地区の成り立ちなどを学びました。

東泉から参加した方は「この地が歩んできた歴史を知ると、とても身近で魅力的な場所を感じる。住んでいる所にも自分の知らない隠れた歴史があるのでは、と思うと興味深い」と感想を話してくれました。



6/9 (土) **まんぷく列車**

9日(土)・23日(土)の2日間、JR東日本のイベント列車「とちぎまんぷく列車」が運行されました。新宿駅を出発したお座敷列車は県内の主要な駅に停車し、乗客は各地の名産品などを楽しみながら北上しました。矢板駅では、やいたブランドのりんごジュースやりんごゼリーなどが振る舞われました。

家族連れで参加した方は「子どもたちと、電車からの景色とおいしい食べ物を楽しんでいる。各駅で、いろいろなおもてなしがあり、お腹がいっぱい」と話してくれました。



6/17 (日) **障がい者スポーツ大会**

市体育館で「第14回障がい者スポーツ大会」が開催されました。この大会は障がいのある人たちがスポーツ活動を通じて、共に汗を流すことで親睦を深めることなどを目的に毎年行われています。当日は、3チームに分かれ、綱引きや玉入れなどの競技が実施され、笑顔と歓声に包まれた大会となりました。

参加した子どもたちは「友だちと力を合わせてがんばった。とても楽しかったので、来年も参加したい」と感想を話してくれました。

